



今号の写真 [表紙 / 裏表紙 / 上]

©順正寺こども園

本誌をお手に取っていただき、ありがとうございます。

このたび、こども家庭庁より発信された「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なヴィジョン（仮称）」には、「保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする」ことが視点の1つに掲げられ、保育者への支援も、子どもの育ちの要素として重要視されています（2023年10月時点）。子どものよりよい育ちや環境づくりには社会の注目が集まりやすいですが、従来は陰に隠れがちだったその土台を支える人々——保育者を含めた保護者・養育者のウェルビーイングが保たれる環境づくりにも、目が向けられるようになってきたといえるでしょう。

今号ではそのウェルビーイングの要素である「メンタルヘルス」を取り上げています。取材にご協力いただいた園では、試行錯誤の過程や、そこで得た知見を大変率直にお話しいただきました。この場をお借りして御礼申し上げますとともに、全国の先生方にご活用いただけることを願っています。

「これからの幼児教育」編集部

STAFF

編集発行人／西村俊彦 発行所／(株)ベネッセコーポレーション
印刷製本／TOPPAN株式会社 監修／北野幸子(神戸大学大学院教授)
企画・制作／ベネッセ教育総合研究所
編集協力／(有)ペンダコ、丹羽三千代、菊池健(mananico)、神田有希子
執筆協力／二宮良太 表紙＋特集扉デザイン協力／へんな優
イラスト協力／中川視保子 撮影協力／菊池健(mananico)

CONTENTS

1 特集

保育者のメンタルヘルスを考える

2 インタビュー

ストレス要因の特定と対策でメンタルの不調を防ぎ、仕事の喜びとやりがいを高める

新見公立大学 准教授 加藤由美

6 メンタルヘルスの向上を図る園内研修ガイド

10 園の取り組み事例①

保育者の対話を促し日常的に支え合いながら、主体性を発揮できる風土を育む

順正寺こども園(広島県・私営)

14 園の取り組み事例②

組織マネジメントを見直して子どもや保育者をつなぎ、保育者の「やってみよう」を促す

藤島幼稚園(福井県・私営)

18 データ紹介 「幼児期から中学生の家庭教育調査・縦断調査」より 幼児期の子どもへのかかわりが安定した生活習慣を育み 児童期以降の学びや育ちを伸ばす

目白大学 准教授 荒牧美佐子

※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。

また、敬称略とさせていただきます。

※本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。

©Benesse Corporation 2023



特集

保育者のメンタルヘルスを考える

保育者の心の健康である「メンタルヘルス」。ともすれば、保育者自身の強さ・弱さなど、個人に帰するものと捉えられがちです。しかし、業務の多忙さはもとより、保育観の共有不足に起因する人間関係の難しさなど、保育者の周囲にはメンタルヘルスを阻害するさまざまな環境要因があります。そうした環境要因の改善に組織的に取り組んでいくことが、保育の質の担保・向上を実現する上で大切な視点になることは間違いありません。

今号では、識者によるメンタルヘルスの向上を図る研修の紹介や、2つの園の事例を通して、メンタルヘルスを守る環境づくりについて考えていきます。

